

さんかく情報局

～ワークライフバランスで豊かな生活～

vol. 14

ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」のことです。



エプロンを着けて、ご飯を作るパパも大好き

固定的な性別役割分担

かつては、夫が働き、妻が専業主婦として家庭での役割を担うことが一般的でした。現在も、まだこのような意識や風習が残っています。

●ライフスタイルは人それぞれ

家庭生活と仕事を両立したい女性、仕事よりも、家庭生活を優先したい男性もいます。

また働く時間とは別に、家族や友人との充実した時間を楽しむこと、自己啓発や地域活動の時間を持つことを

望む人もいます。

●希望は両立、現状は一方のみ

「男女共同参画社会に関する世論調査(内閣府調査平成21年)」では、生活の中で仕事、家庭生活などの関わりについて、「仕事と家庭生活をともに優先したい」と希望する人が最も多くいました。

しかし、現状は男性の約4割が「仕事を優先」、女性の約半数が「家庭生活を優先」しており、希望と現実にギャップが生じています。

●多様な働き方、生き方を「選択できる社会」

性別や年齢にかかわらず、誰もが自分の意欲と能力を持ってさまざまな働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されています。

子育てや介護が必要などに、状況に応じて柔軟で多様な働き方を選択・実現できることが、ワークライフバランス社会のめざすところです。

ワークライフバランスを始めよう

●パパごはん講座

地元野菜を使ったご飯を作って、家族を笑顔にします

んか。作った料理は、ご家族と一緒に試食できます。

またパパの料理中、ママとお子さんは「野菜と田んぼのお話」やカルタで楽しめます。

日時 2月5日(土)10時から14時まで

会場 男女共同参画センターラポール

講師 農業女性の会つばさ

募集人員 子育て中の家族8組(先着順)

材料費 1000円

子育てママのやさしいマネー教室

自分らしい人生設計のためには「お金」「健康」「生きがい」の3要素が重要と言われています。

今回は子育て世代のママたちを対象に、「お金」についての知識を学びます。教育資金やマイホーム購入など、これからどのくらいかかるのか、いまだ聞けないお金の基本など、基礎からやさしく教えます。

日時 2月1日(火)10時30分から12時まで

会場 男女共同参画センターラポール

講師 西日本シティ銀行

NCBA天神 姫野美紀子さん
対象者 子育て中の女性、関心のある女性

募集人員 20人(先着順)

参加費 無料

託児 要申し込み・無料(6か月から就学前まで)

申込方法 電話かFAX、Eメールで申し込み

申込期限 1月25日(火)

申し込み・問い合わせ

男女共同参画センターラポール

FAX (324) 2800

E-mail rapor@city.itoshi

ma.lg.jp

フレッシュItoshima

#07



松崎治久さん(25歳/ニ丈松末)
米、麦、大豆の生産農家

子どものころから農業一筋
みなさんとの交流が元気の源

ニ丈の豊かな土地で、夏は米と大豆、冬は麦を作っています。

農業の道に進もうと思ったのは小学5年生のころ。もともと家が農家だったこともあり、両親が楽しそうに働いている姿を見ながら、農業の手伝いをしていました。

高校卒業後は福岡県の農業大学校で2年間勉強し、晴れて農家の仲間入りをしたわけですが、ものを作るということは大変難しく、勉強の毎日です。

育てたお米は、地元の直売所などで販売していますが、購入したお客さんから「おいしい」と言われるたびに、次の仕事への原動力となっています。

最近、九州大学が移転してきたことで、農業体験を希望する人が増えています。今後いろいろな人との交流をおし、刺激を受けながら農業に励んでいきたいと思っています。

自薦・他薦を問いません。このコーナーに登場していただける、市内の若者をお待ちしています。

申し込み 糸島市情報政策課 ☎ (332) 2063

人権コラム

とうとい

人権政策課
社会人権・同和教育指導員
山田 泰生

(貴)と(尊)

「とうとい」という字には、(貴)と(尊)がある。

『広辞苑』には「尊敬の感じがこもる場合に(尊)を、貴重あるいは高貴の意味が込められる場合には(貴)を使うことが多い」とある。曖昧なので、使用例から掘り下げてみたい。

「貴金屬」という言葉がある。金や銀は、鉄や銅より量が少ない。その分、希少価値が高いということだろう。他と比較し、相対的にたいせつなものに(貴)を使うことが多いようだ。

(尊)はどうだろう。「平和の尊さ」「尊い人命」という言い方がある。どうもこちらは、他と比較せず、絶対的な大事さを言ったもののように入る。

オリンピックの一位は金で三位は銅メダル。銅より

り金の方が貴い。確かにグラム単価も高い。人はどうだろう。社長と新入社員、高齢者と働き盛りの年代の人、男性と女性、障がいのある人となない人、どちらの価値が高いのか。

「その考えがいけない」と人権教育で語られるし「言われるまでもなく分かっている」と大半の人が言う。この場合の「とう」ときは(貴)ではなく(尊)なのだ。しかし、これは本当に、分かったことなのか。

天上天下唯我独尊

友達づくり、職場の上司や部下、そして同僚や近所との付き合い、心のどこかで人を値踏みしていないだろうか。自分自身、確認し、反省してみる。

「天上天下唯我独尊」。釈迦様は、生まれ落ちるや東へ7歩歩んで、こう言わ

れたそうである。

真偽のほどは別として、私は最初この言葉を聞いたとき「お釈迦様はなんて傲慢なんだ」と不遜にも思った。「自分ひとりだけが尊い」

「お山の大将おれ一人」という意味でとらえたのだ。ここで使われているのは(貴)でなく(尊)である。他との比較ではなく、存在そのものの「とう」ときを表現しているのならば、これは「広い世界にあって、私は、ただ独りの、誰とも代わることのできない人間として、無条件に尊い存在なのだ」と意識できる。とてもいい言葉だ、と今は思う。



天上天下
唯我独尊

「お山の大将おれ一人」という意味でとらえたのだ。ここで使われているのは(貴)でなく(尊)である。他との比較ではなく、存在そのものの「とう」ときを表現しているのならば、これは「広い世界にあって、私は、ただ独りの、誰とも代わることのできない人間として、無条件に尊い存在なのだ」と意識できる。とてもいい言葉だ、と今は思う。